

Early Years Learning Framework (幼児期学習フレームワーク) は、プリスクールおよびその他の幼児教育サービスで用いられている全国的な学習の枠組みです。この枠組みでは、子どもたちの健全な成長および学習能力の促進をサポートする5通りの学習成果を通して、教育および学習の方法が紹介されています。

第四の学習成果 (Learning outcome 4) は、子どもたちが自信をもって学習に専念できるようになることです。子どもたちは調べ、連想し、批判的に思考し、そして学んだ知識を新たな状況に応用することができます。子どもたちは自信をもって調査および問題解決に取り組み、主導的に学習することができます。さらに彼らは、自らの創造性を用いて物事のしくみとその理由を明らかにすることができます。

Early Years Learning Framework についてさらに詳しい情報をご希望の方は下記ウェブサイトをご参照ください。

https://www.dese.gov.au/collections/translations-belonging-being-and-becoming-early-years-learning-framework-australia

## 電話通訳サービス

さらに詳しい情報をご希望の方は、お子さまのプリスクールまたは幼児教育サービスまでお問い合わせください。お問い合わせの際に通訳を希望される方は、電話通訳サービス (TEL: 131 450) をご利用いただけます。オペレーターが電話に出たら、日本語の通訳をご指定のうえ、相手先の電話番号をお伝えください。通訳が電話を介して会話をお手伝いします。このサービスは無料でご利用いただけます。



## 学校での学習

児童・生徒は質問、予測、計画、分析、そして情報の伝達を行うことができる(科目: 科学技術、数学)

## 幼児期学習

子どもたちは、さまざまな ツールや教材を用いて好 奇心を満たしたり、研究し たり、組み立てたり、分解 したりすることができる

> 子どもたちは、さまざ まな方法を用いて数 字や記号、要点など を表現できる

児童・生徒は環境問題を理解して、実現可能な解決策について考え、計画することができる(科目: 科学技術)

自信をもって 熱心に学ぶとは

> 子どもたちは、さまざまな方法を用いて試したり、問題を解決したり、 また新たな状況に対応 したりすることができる

児童・生徒は、批判的 および創造的な思考 能力を育むことがで きる(全科目)

子どもたちは、自らの 判断で周囲の状況に ついて探究すること ができる

> 児童・生徒は、日常の話し 言葉や具体的な資料・文書 を用いて自らの見解を説明 できる(科目:数学)